



- (2) ScienceDirect で提供される電子ジャーナルのタイトルをメンテナンスしました（新規 4 誌、中止 22 誌）。
- (3) PMC やフリーで利用できる電子ジャーナルを追加しました（計 64 誌）。
- (4) メディカルオンラインで利用できる医学系国内誌を追加しました（44 誌）。

---

### 03. 習志野 3 大学図書館利用ガイドが完成

[http://www.mnc.toho-u.ac.jp/open\\_doc/guide-A.pdf](http://www.mnc.toho-u.ac.jp/open_doc/guide-A.pdf)

[http://www.mnc.toho-u.ac.jp/open\\_doc/guide-B.pdf](http://www.mnc.toho-u.ac.jp/open_doc/guide-B.pdf)

---

千葉工業大学、日本大学生産工学部の図書館と東邦大学習志野メディアセンターの市民向け利用ガイドを作成しました。このガイドは、近隣に住む市民が上手に大学図書館を利用していただくために作成しました。

各大学の図書館カウンターで配布する他、近隣の市立図書館にも配置してもらう予定です。

公開講座等、市民の参加が見込めるイベント等の開催予定がありましたら、下記担当までご一報ください。必要部数をお届けします（A4 版の三つ折サイズ一枚ものです）。他の資料と一緒に配布して下さるようお願い申し上げます。

図書館利用ガイド担当：谷澤（内線：5205、Mail:yazawa@mnc.toho-u.ac.jp）

また、大学図書館の市民利用に関して、習志野市広報課の取材を受けました。習志野市広報番組「なるほど習志野」3 月後半号（平成 19 年 3 月 15 日から 3 月 31 日 1 日 4 回（9：30～、12：30～、18：30～、23：30～）タウンテレビ習志野 9 チャンネルで放送されます）

---

### 04. セキュリティカメラの設置

---

習志野メディアセンター運営委員会等で設置の必要性が指摘されていた、センター内のセキュリティを強化するためのセキュリティカメラが設置され、1 月 23 日より運用しています。

---

### 05. 卒業生および大学院修了生へのお知らせ

<http://www.mnc.toho-u.ac.jp/nmc/somu/03gakugai sha.htm>

---

卒業生および大学院修了生は、4 月以降も習志野メディアセンターへの入館、

所蔵資料の閲覧等のサービスが利用できます。ただし、所蔵資料の貸出および文献複写の取り寄せ等は利用できません。

上記サービスの詳細は、習志野メディアセンターのホームページから、左上の学外者の利用ページをご覧ください。

なお、現在借りている資料および卒業までに借りた資料は3月30日までに必ず返却してください。

---

06. 文献管理・論文執筆支援ツール「EndNote Web」が利用できます(無料)  
[http://www.mnc.toho-u.ac.jp/nmc/somu/oshirase\\_2006.htm#2007/1/11](http://www.mnc.toho-u.ac.jp/nmc/somu/oshirase_2006.htm#2007/1/11)  
<http://www.thomsonscientific.jp/products/enw/>

---

市販の文献管理・論文執筆支援ツール EndNote の Web 版、 EndNote Web が ISI Web of Knowledge プラットフォーム上で利用できるようになりました。料金は必要ありませんので、一度お試しください。

詳しい情報と利用ガイドをホームページに掲載しています。

---

07. 利用者からの投書「メディアセンターの利用マナーについて」への回答

---

2007年1月19日付けで、利用者からメディアセンターの利用マナーが悪いとのご意見を頂きました。特に、試験期に関取を目的として、荷物を長時間にわたりに机の上に置いたまま、席を空けている行為が問題とのご指摘です。

メディアセンターでも、関取行為は許可しておらず、更に以下のような事態を助長するものとして苦慮しています。

- ・限られた閲覧席が有効に利用されず、更なる関取り行為を生んでしまう
- ・机等に放置された私物は、置引き等の不正を助長する恐れがある

机に置かれた私物が、正当な利用によるものか、席取りを目的としたものかの判断が難しいこと、私物を職員が移動・撤去するには様々な問題をクリアする必要があり、かつ移動・撤去した私物の管理業務が大きな負担となることが推測されます。

従って、現時点では、試験期の職員による館内巡回と私物の放置に関する注意書を放置物に置くことで対処しています。また、閲覧席の増設も儘ならず、薬学部、理学部に試験期間中の教室開放をお願いしているところです。

最も効果が期待できるのは、メディアセンター利用者の皆さん一人一人が、ルール、マナーを守り、限られた閲覧席の有効利用に協力していただくことで

